

資料 1

ごみ組成調査結果

●ごみ組成調査結果

1. 調査概要

1) 調査の目的

ごみ組成調査は本市の家庭および事業所から排出されるごみの組成を確認するため、各ごみ質における排出特性や分別状況の調査を行い、ごみ種類ごとの適正排出割合や減量化・資源化可能な項目の現状把握を行いました。

2) 調査対象、調査地域、実施期間

調査対象は家庭系焼却ごみ類、家庭系破碎ごみ類、事業系一般廃棄物を対象としました。
調査地域は表 1-1 のとおりとし、各地域とも約 100kg 以上のごみを収集し調査しました。

表 1-1 調査対象及び調査地域

調査対象	調査地域数：6	
家庭系焼却ごみ類	戸建住宅地	[1] 琵琶湖周辺地、[2] 低層住宅地
	集合住宅地	[3] 中高層住宅地、[4] 駅周辺地、[5] 駅近隣地
	大学周辺地	[6] 大学周辺地
調査対象	調査地域数：3	
家庭系破碎ごみ類	戸建住宅地	[1] 低層住宅地
	集合住宅地	[2] 中高層住宅地
	大学周辺地	[3] 大学周辺地
調査対象	調査地域数：2	
事業系一般廃棄物	[1] 駅周辺地、[2] 工業系事業所密集地	

実施期間は以下のとおりです。

実施日：2019年11月25日（月）～11月29日（金）

組成分析の実施場所：草津市立クリーンセンター（旧施設の一部）

3) 分類項目及び重量測定

分類項目は減量化、資源化可能な項目を把握するため、表 1-2 の 8 分類 31 項目を基準とし、手作業で分類を実施しました。

重量測定は調査前の試料（指定ごみ袋 1 袋当たりの投入容量）及び分類項目ごとの重量測定を行い、家庭系ごみ及び事業系ごみに含まれる減量化、資源化可能な品目とその割合を把握しました。

なお、No. 1 「手付かず食品」は容器包装の重量を考慮し、その重量を含んでいません。また、今回の調査では No. 1 「手付かず食品」、No. 3 「食べ残し」を減量化可能（食品ロス）とし、No. 2 「調理くず」を資源化可能として整理しました。また、生ごみ中の袋に入った水分は No. 4 「その他生ごみ」とし、水分が付着した紙類は経緯が不明なため、No. 5 「紙くず」として分類しました。

表 1-2 ごみ組成調査の分類項目 (8分類 31項目)

番号	大分類	中分類	小分類	具体的な品目
1	焼却ごみ類	生ごみ	手付かず食品	手付かずの食品で原型があるもの(直接廃棄)
2			料理くず	野菜・果物の皮、卵の殻等(不可食部)
3			食べ残し	ご飯・パン・麺類、おかず等
4			その他	ティーバック、台所ごみ等
5		紙くず	紙くず(リサイクル不可)	タバコの吸殻、ティッシュペーパー、汚れのひどい紙類、防水加工、ワックス加工、アルミ加工、カーボン紙、圧着ハガキ、写真など特殊な素材。感熱紙、資源化できない紙類
6			紙おむつ	紙おむつ、衛生紙等
7	ゴム・皮革製品、繊維類		ゴム・皮革製品	合成樹脂製品、皮革類、長靴等
8			繊維類リサイクル可能	衣類、繊維類
9			繊維類リサイクル不可	汚れのひどい衣類、繊維類
10			プラスチック容器包装を除くプラスチック	プラマークがないもの、カセットテープ、ビデオテープ、CD(ケース含む)、ゲームソフト、歯ブラシ、プラスチック製のおもちゃ等
11			在宅医療廃棄物	ビニールバッグ類、チューブ・カテーテル類、脱脂綿、ガーゼ等
12			その他	使い捨てカイロ、保冷剤、乾燥剤、家庭用ラップ等
13			包装類	商品を包んでいたプラスチックのシート・フィルム
14	プラスチック製容器類		袋・ラップ類	菓子類などの袋、商品を包んでいたラップ果物が入っていたネット
15			カップ・パック類	プリンなどのカップ、食料品などのパック、インスタント食品などの容器
16			トレイ類	食品トレイ
17			その他(チューブ類、ボトル類、ふた・キャップ類)	歯磨き粉、ねりわさび、マヨネーズ・ケチャップの容器・チューブなど 調味料・シャンプー・洗剤などのボトル ボトル類・チューブ類・カップ類などのふた・キャップ・ペットボトルなどのふた
18			リサイクル不可(簡易な洗浄でリサイクル可)	汚れのひどい容器等
19			レジ袋	レジ袋
20	ペットボトル類	ペットボトル	飲料用、醤油用(きれいなもの)	
21	空き缶類		ジュース缶、ビール缶、缶詰の缶、菓子缶、スプレー缶、カセットボンベ(穴あき)	
22	飲・食料用ガラスびん類		調味料びん、酒びん、清涼飲料びん、リターナブルびん	
23	破碎ごみ類		小型金属類	フライパン、鍋、やかん等
24			小型家電製品	ゲーム機、ミキサー、電話機、ポット、浄水器、ひげそり機、アイロン、ドライヤー、トースト等
25			硬質プラスチック製品	バケツ、洗面器、フラワーポット等、硬質プラスチック、おおむね20cm以上のもの
26			その他	傘、刃物、金属キャップ、電気コード等
27	陶器・ガラス類		陶器製の茶碗、花瓶、湯のみ、皿、土鍋等 板ガラス、ガラス食器、耐熱ガラス容器、化粧品・薬品のビン、電球、鏡等	
28	古紙類	新聞・広告	新聞・広告	
29		段ボール	段ボール	
30		雑誌・雑紙	週刊誌、紙箱、コピー用紙、紙袋、単行本、牛乳パック	
31	その他	電池・ライター等	電池、ライター	

2. ごみ質調査結果

1) ごみ種別ごとの平均排出割合

ごみ種別ごとに平均排出割合及び地域別排出割合を表 2-1～2-3 及び図 2-1～2-3 に示します。

① 家庭系焼却ごみ類 (平均値)

表 2-1 家庭系焼却ごみ調査結果 (平均値)

大分類	中分類	小分類	No.	家庭系 焼却ごみ類
				平均
焼却 ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	5.97
		料理くず	2	11.93
		食べ残し	3	4.37
		その他	4	11.23
	紙くず	紙くず (リサイクル不可)	5	15.01
		紙おむつ	6	9.47
	ゴム・ 皮革製品、 繊維類	ゴム・皮革製品	7	0.28
		繊維類 (リサイクル可能)	8	2.75
		繊維類 (リサイクル不可)	9	1.36
	プラスチック容器包装を除くプラスチック		10	0.94
	在宅医療廃棄物		11	0.00
	その他		12	6.39
プラス チック 製容器 器類	包装類	13	0.09	
	袋・ラップ類	14	7.71	
	カップ・バック類	15	1.91	
	トレイ類	16	0.22	
	その他 (チューブ類 ボトル類ふた・キャップ類)	17	1.65	
	リサイクル不可 (簡易な洗浄でリサイクル可)	18	1.17	
	レジ袋	19	0.76	
ペットボトル類		20	0.50	
空き缶類		21	0.25	
飲・食料用ガラスびん類		22	0.10	
破碎 ごみ類	小型金属類	23	0.00	
	小型家電製品	24	0.00	
	硬質プラスチック製品	25	0.02	
	その他	26	0.20	
陶器・ガラス類		27	0.41	
古紙類	新聞・広告	28	2.03	
	段ボール	29	1.08	
	雑誌・雑紙	30	12.18	
その他 (電池・ライター)		31	0.04	
合計	—	—	100	

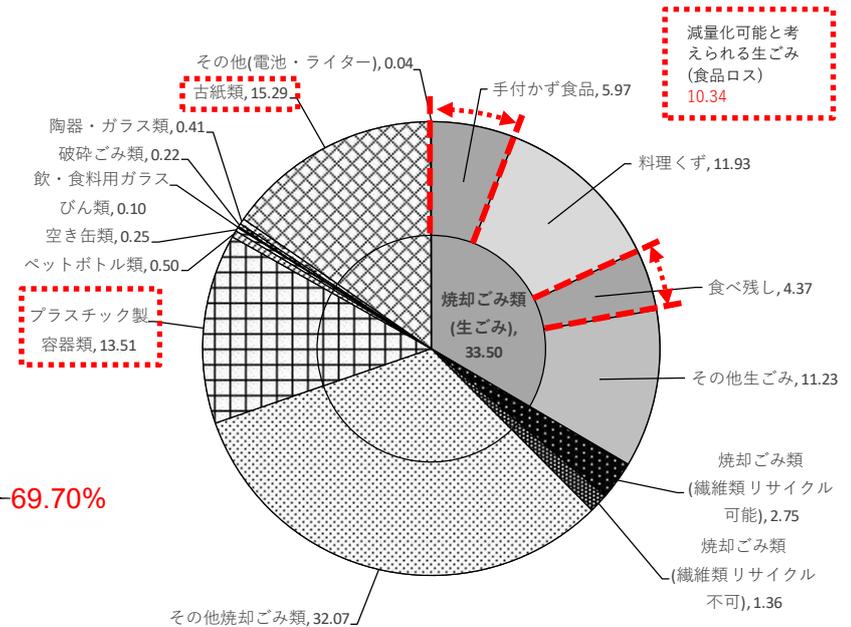


図 2-1 家庭系焼却ごみ調査結果 (平均値)

全体の組成割合の概要

- ・焼却ごみ類 (69.70%)、古紙類 (15.29%)、プラスチック製容器類 (13.51%) の順で多く含まれています。
- ・減量化可能と考えられる生ごみ (食品ロス) が合計で約 10% 含まれています。
- ・資源化可能と考えられる廃棄物が合計で約 43% 含まれています。

No.1 「手付かず食品」 5.97%

No.3 「食べ残し」 4.37%

No.28～No.30 「古紙類」 15.29%

No.13～No.19 「プラスチック製容器類」 13.51%

No.2 「料理くず」 11.93%

No.8 「繊維類 (リサイクル可能)」 2.75%

② 家庭系破碎ごみ類（平均値）

表 2-2 家庭系破碎ごみ調査結果（平均値）

大分類	中分類	小分類	家庭系破碎ごみ類	
			No.	平均
焼却ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	0.00
		料理くず	2	0.00
		食べ残し	3	0.00
		その他	4	0.00
	紙くず	紙くず（リサイクル不可）	5	0.00
		紙おむつ	6	0.00
	ゴム・皮革製品、繊維類	ゴム・皮革製品	7	0.37
		繊維類（リサイクル可能）	8	0.00
		繊維類（リサイクル不可）	9	0.00
	プラスチック容器包装を除くプラスチック		10	1.59
	在宅医療廃棄物		11	0.00
	その他		12	3.07
プラスチック製容器類	包装類	13	0.00	
	袋・ラップ類	14	0.00	
	カップ・バック類	15	0.00	
	トレイ類	16	0.00	
	その他（チューブ類 ボトル類 ふた・キャップ類）	17	0.27	
	リサイクル不可（簡易な洗浄でリサイクル可）	18	0.00	
レジ袋		19	0.16	
ペットボトル類		20	0.00	
空き缶類		21	0.06	
飲・食料用ガラスびん類		22	0.00	
破碎ごみ類	小型金属類	23	17.87	
	小型家電製品	24	40.53	
	硬質プラスチック製品	25	22.41	
	その他	26	12.55	
陶器・ガラス類		27	0.95	
古紙類	新聞・広告	28	0.00	
	段ボール	29	0.00	
	雑誌・雑紙	30	0.18	
その他（電池・ライター）		31	0.00	
合計	—	—	100	

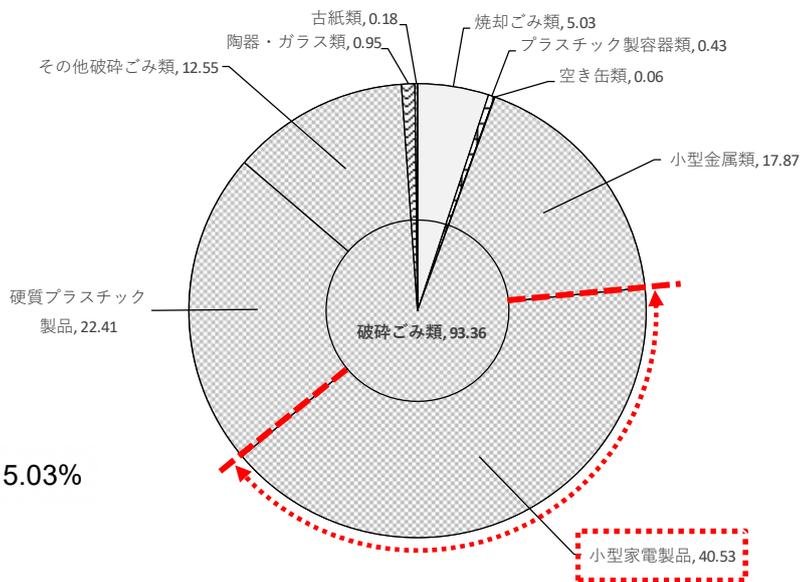


図 2-2 家庭系破碎ごみ調査結果（平均値）

全体の組成割合の概要

・破碎ごみ類（93.36%）、焼却ごみ類（5.03%）、陶器・ガラス類（0.95%）の順で多く含まれています。

・資源化している廃棄物が約 58% 含まれています。

- No.24 「小型家電製品」 40.53%
- No.23 「小型金属類」 17.87%

また、No.26 「その他」のうち、一部についても資源化しています。

・間違った分別で排出された廃棄物が合計で約 7% 含まれています。

- No.1～No.12 「焼却ごみ類」 5.03%
- No.27 「陶器・ガラス類」 0.95%
- No.13～No.19 「プラスチック製容器類」 0.43%
- No.28～No.30 「古紙類」 0.18%
- No.21 「空き缶類」 0.06%

③ 事業系一般廃棄物

表 2-3 事業系一般廃棄物調査結果（平均値）

大分類	中分類	小分類	No.	事業系 一般廃棄物
				平均
焼却 ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	8.87
		料理くず	2	3.40
		食べ残し	3	1.62
		その他	4	2.73
	紙くず	紙くず（リサイクル不可）	5	31.88
		紙おむつ	6	3.66
	ゴム・ 皮革製品、 繊維類	ゴム・皮革製品	7	1.34
		繊維類（リサイクル可能）	8	0.36
		繊維類（リサイクル不可）	9	17.27
		プラスチック容器包装を除くプラスチック	10	0.30
		在宅医療廃棄物	11	0.00
		その他	12	5.49
プラス チック 製容器 類	包装類	13	0.06	
	袋・ラップ類	14	8.63	
	カップ・バック類	15	0.44	
	トレイ類	16	0.07	
	その他（チューブ類 ボトル類ふた・キャップ類）	17	0.98	
	リサイクル不可（簡易な洗浄でリサイクル可）	18	0.59	
	レジ袋	19	0.31	
	ペットボトル類	20	0.09	
	空き缶類	21	0.06	
	飲・食料用ガラスびん類	22	0.19	
破碎 ごみ類	小型金属類	23	0.00	
	小型家電製品	24	0.00	
	硬質プラスチック製品	25	0.00	
	その他	26	0.04	
	陶器・ガラス類	27	0.13	
古紙類	新聞・広告	28	0.44	
	段ボール	29	1.40	
	雑誌・雑紙	30	9.66	
	その他（電池・ライター）	31	0.00	
合計			—	100

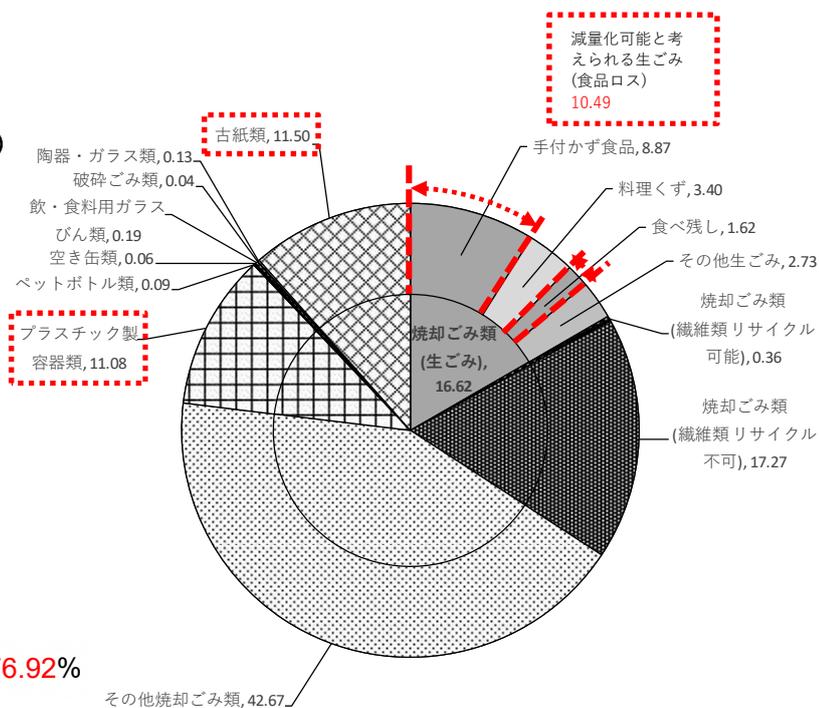


図 2-3 事業系一般廃棄物調査結果（平均値）

全体の組成割合の概要

・焼却ごみ類（76.92%）、古紙類（11.50%）、プラスチック製容器類（11.08%）の順で多く含まれています。

・減量化可能と考えられる生ごみ（食品ロス）が合計で約10%含まれています。

No.1「手付かず食品」8.87%

No.3「食べ残し」1.62%

・資源化可能と考えられる廃棄物が合計で約15%含まれています。

No.28～No.30「古紙類」11.50%

No.2「料理くず」3.40%

No.8「繊維類（リサイクル可能）」0.36%

・間違った分別で排出された廃棄物が合計で約12%含まれています。

No.13～No.19「プラスチック製容器類」11.08%

No.10「プラスチック容器包装を除くプラスチック」0.30%

No.22「飲・食料用ガラスびん類」0.19%

No.27「陶器・ガラス類」0.13%

No.20「ペットボトル類」0.09%

No.21「空き缶類」0.06%

No.23～No.26「破碎ごみ類」0.04%

※上記は全て産業廃棄物であり、資源化できるものがあります

2) ごみ種別ごとの地域別排出割合

地域別の結果は資料編として表 2-4～2-6 及び図 2-4～2-6 に示します。

① 家庭系焼却ごみ類

表 2-4(1) 家庭系焼却ごみ調査結果（地域別）1/2

大分類	中分類	小分類	No.	琵琶湖周辺地	低層住宅地	中高層住宅地
焼却 ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	9.73	2.85	3.95
		料理くず	2	14.91	16.96	5.77
		食べ残し	3	3.07	1.88	4.12
		その他	4	15.98	17.01	18.88
	紙くず	紙くず（リサイクル不可）	5	15.86	12.88	8.84
		紙おむつ	6	9.85	8.34	22.20
	ゴム・ 皮革製品、 繊維類	ゴム・皮革製品	7	0.12	1.11	0.00
		繊維類（リサイクル可能）	8	6.13	4.97	0.07
		繊維類（リサイクル不可）	9	0.37	0.84	0.73
		プラスチック容器包装を除くプラスチック	10	0.30	1.35	2.58
		在宅医療廃棄物	11	0.00	0.00	0.00
		その他	12	2.00	16.31	2.81
プラス チック 製容器 類	包装類	13	0.04	0.12	0.00	
	袋・ラップ類	14	9.16	4.81	5.60	
	カップ・パック類	15	1.72	0.52	1.18	
	トレイ類	16	0.13	0.10	0.10	
	その他（チューブ類 ボトル類ふた・キャップ類）	17	1.03	0.77	1.00	
	リサイクル不可（簡易な洗浄でリサイクル可）	18	0.70	0.63	0.18	
	レジ袋	19	0.55	0.30	0.49	
	ペットボトル類	20	0.43	0.20	0.22	
	空き缶類	21	0.09	0.00	0.40	
	飲・食料用ガラスびん類	22	0.00	0.00	0.00	
破碎 ごみ類	小型金属類	23	0.00	0.00	0.00	
	小型家電製品	24	0.00	0.00	0.00	
	硬質プラスチック製品	25	0.00	0.00	0.10	
	その他	26	0.08	0.36	0.04	
	陶器・ガラス類	27	0.00	0.00	0.00	
古紙類	新聞・広告	28	1.62	1.30	0.98	
	段ボール	29	0.98	0.87	0.62	
	雑誌・雑紙	30	5.13	5.51	19.16	
	その他（電池・ライター）	31	0.00	0.00	0.00	
合計		—	—	100	100	100

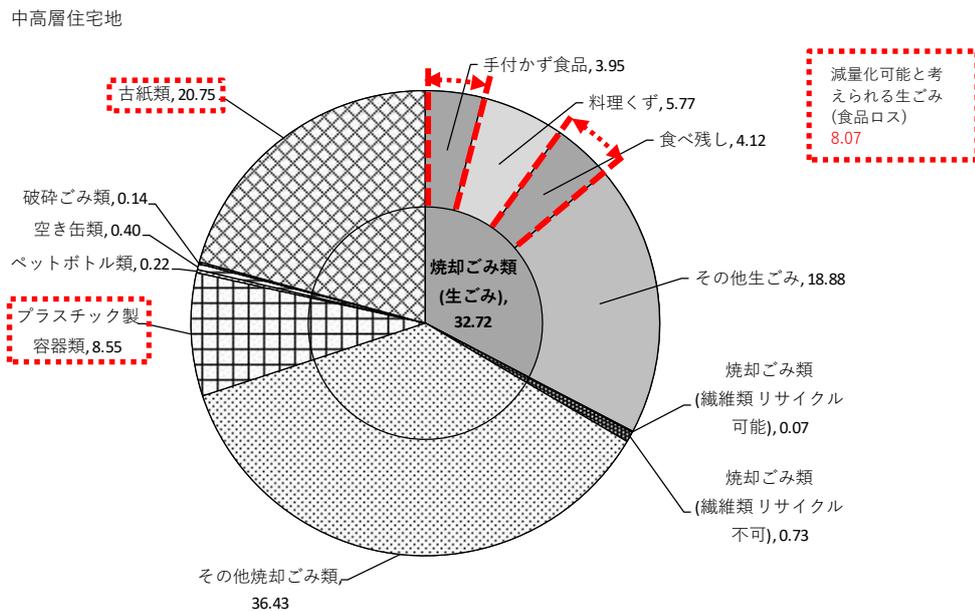
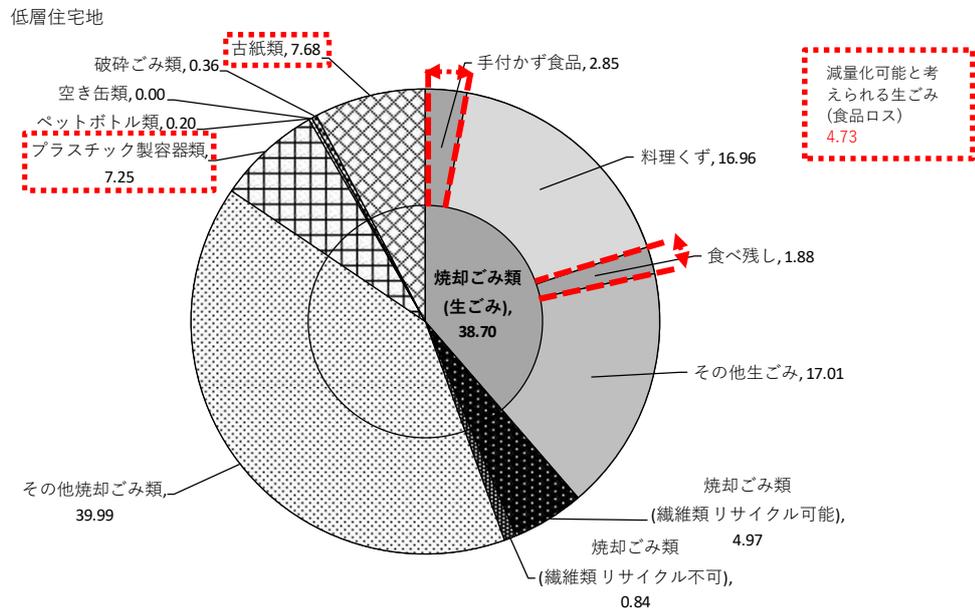
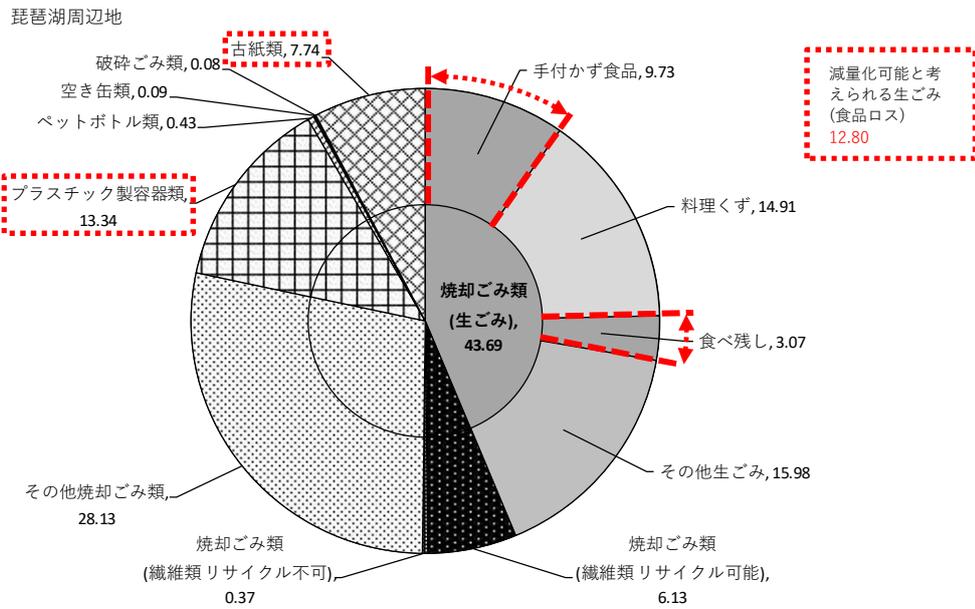
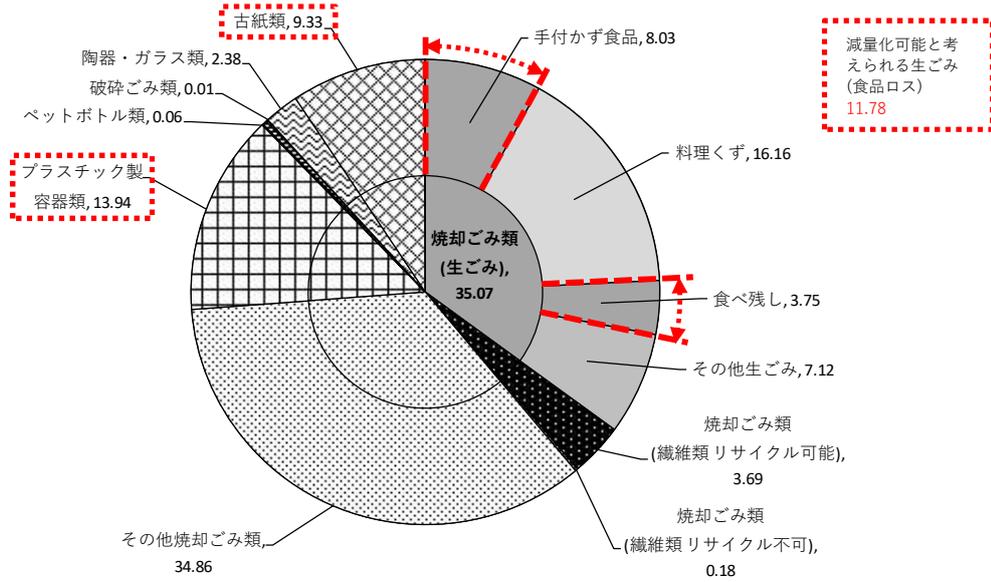


図 2-4(1) 家庭系焼却ごみ調査結果(地域別) 1/2

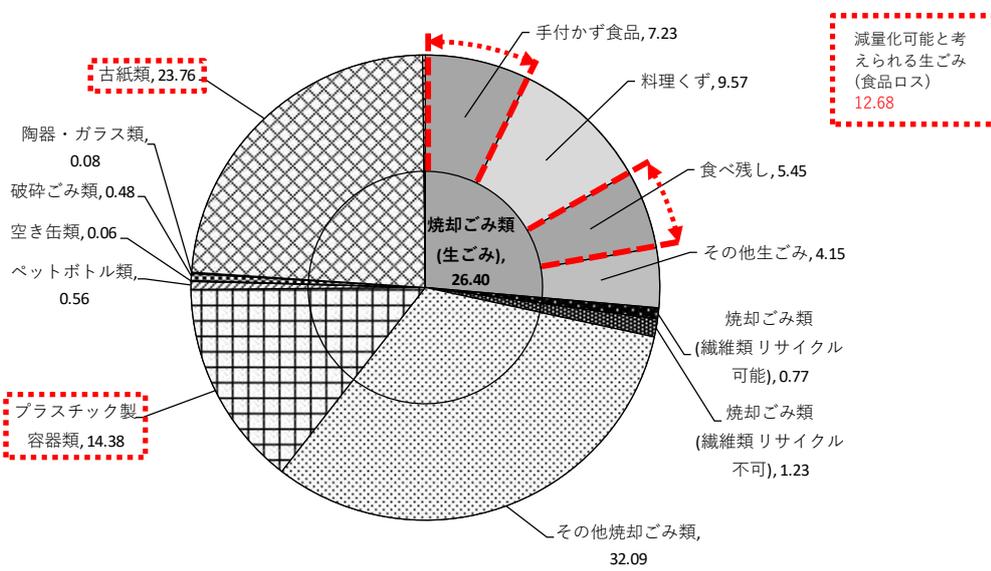
表 2-4(2) 家庭系焼却ごみ調査結果（地域別）2/2

大分類	中分類	小分類	No.	駅周辺地	駅近隣地	大学周辺地
焼却 ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	8.03	7.23	4.03
		料理くず	2	16.16	9.57	8.24
		食べ残し	3	3.75	5.45	7.94
		その他	4	7.12	4.15	4.23
	紙くず	紙くず（リサイクル不可）	5	20.21	16.97	15.28
		紙おむつ	6	7.45	6.75	2.22
	ゴム・ 皮革製品、 繊維類	ゴム・皮革製品	7	0.02	0.26	0.16
		繊維類（リサイクル可能）	8	3.69	0.77	0.83
		繊維類（リサイクル不可）	9	0.18	1.23	4.80
		プラスチック容器包装を除くプラスチック	10	0.39	0.84	0.16
		在宅医療廃棄物	11	0.00	0.00	0.00
		その他	12	6.78	7.29	3.12
プラス チック 製容器 類	包装類	13	0.04	0.15	0.19	
	袋・ラップ類	14	9.21	7.81	9.67	
	カップ・バック類	15	0.92	0.93	6.18	
	トレイ類	16	0.15	0.17	0.68	
	その他（チューブ類 ボトル類 ふた・キャップ類）	17	1.89	1.82	3.42	
	リサイクル不可（簡易な洗浄でリサイクル可）	18	1.12	2.15	2.23	
	レジ袋	19	0.61	1.35	1.26	
	ペットボトル類	20	0.06	0.56	1.55	
	空き缶類	21	0.00	0.06	0.96	
	飲・食料用ガラスびん類	22	0.45	0.00	0.13	
破碎 ごみ類	小型金属類	23	0.00	0.00	0.00	
	小型家電製品	24	0.00	0.00	0.00	
	硬質プラスチック製品	25	0.00	0.00	0.00	
	その他	26	0.01	0.48	0.24	
	陶器・ガラス類	27	2.38	0.08	0.00	
古紙類	新聞・広告	28	3.47	2.94	1.90	
	段ボール	29	0.07	3.18	0.76	
	雑誌・雑紙	30	5.78	17.64	19.84	
	その他（電池・ライター）	31	0.03	0.19	0.00	
合計		—	—	100	100	100

駅周辺地



駅近隣地



大学周辺地

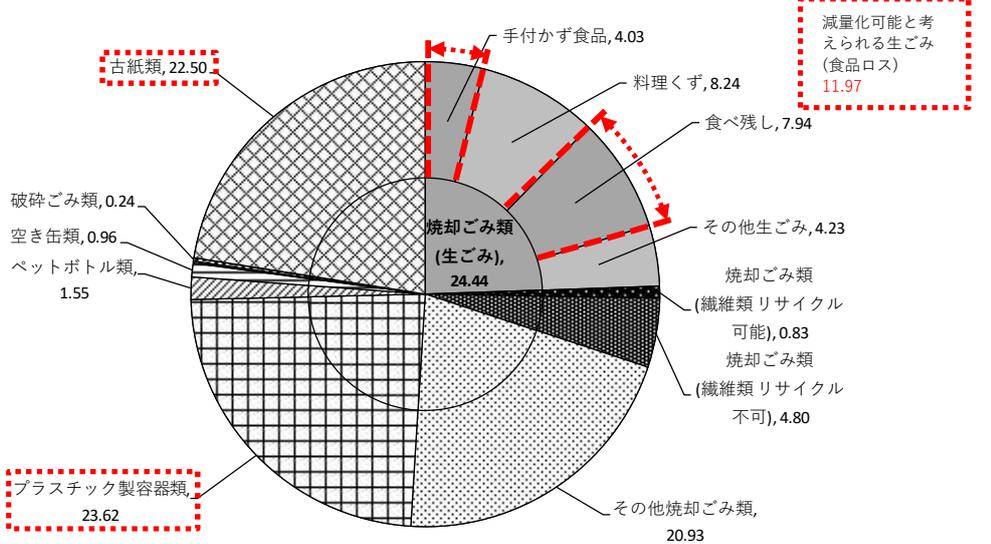


図 2-4(2) 家庭系焼却ごみ調査結果(地域別) 2/2

② 家庭系破碎ごみ類（地域別）

表 2-5 家庭系破碎ごみ調査結果（地域別）

大分類	中分類	小分類	No.	低層住宅地	中高層住宅地	大学周辺地
焼却 ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	0.00	0.00	0.00
		料理くず	2	0.00	0.00	0.00
		食べ残し	3	0.00	0.00	0.00
		その他	4	0.00	0.00	0.00
	紙くず	紙くず（リサイクル不可）	5	0.00	0.00	0.00
		紙おむつ	6	0.00	0.00	0.00
	ゴム・ 皮革製品、 繊維類	ゴム・皮革製品	7	0.32	0.00	0.80
		繊維類（リサイクル可能）	8	0.00	0.00	0.00
		繊維類（リサイクル不可）	9	0.00	0.00	0.00
		プラスチック容器包装を除くプラスチック	10	3.72	0.00	1.04
		在宅医療廃棄物	11	0.00	0.00	0.00
		その他	12	8.32	0.00	0.88
プラス チック 製容器 類	包装類	13	0.00	0.00	0.00	
	袋・ラップ類	14	0.00	0.00	0.00	
	カップ・パック類	15	0.00	0.00	0.00	
	トレイ類	16	0.00	0.00	0.00	
	その他（チューブ類 ボトル類 ふた・キャップ類）	17	0.80	0.00	0.00	
	リサイクル不可（簡易な洗浄でリサイクル可）	18	0.00	0.00	0.00	
	レジ袋	19	0.00	0.48	0.00	
	ペットボトル類	20	0.00	0.00	0.00	
	空き缶類	21	0.18	0.00	0.00	
	飲・食料用ガラスびん類	22	0.00	0.00	0.00	
破碎 ごみ類	小型金属類	23	16.20	23.85	13.56	
	小型家電製品	24	41.97	28.25	51.37	
	硬質プラスチック製品	25	18.21	26.57	22.46	
	その他	26	8.86	20.34	8.45	
	陶器・ガラス類	27	1.40	0.00	1.44	
古紙類	新聞・広告	28	0.00	0.00	0.00	
	段ボール	29	0.00	0.00	0.00	
	雑誌・雑紙	30	0.03	0.51	0.00	
	その他（電池・ライター）	31	0.00	0.00	0.00	
合計		—	—	100	100	100

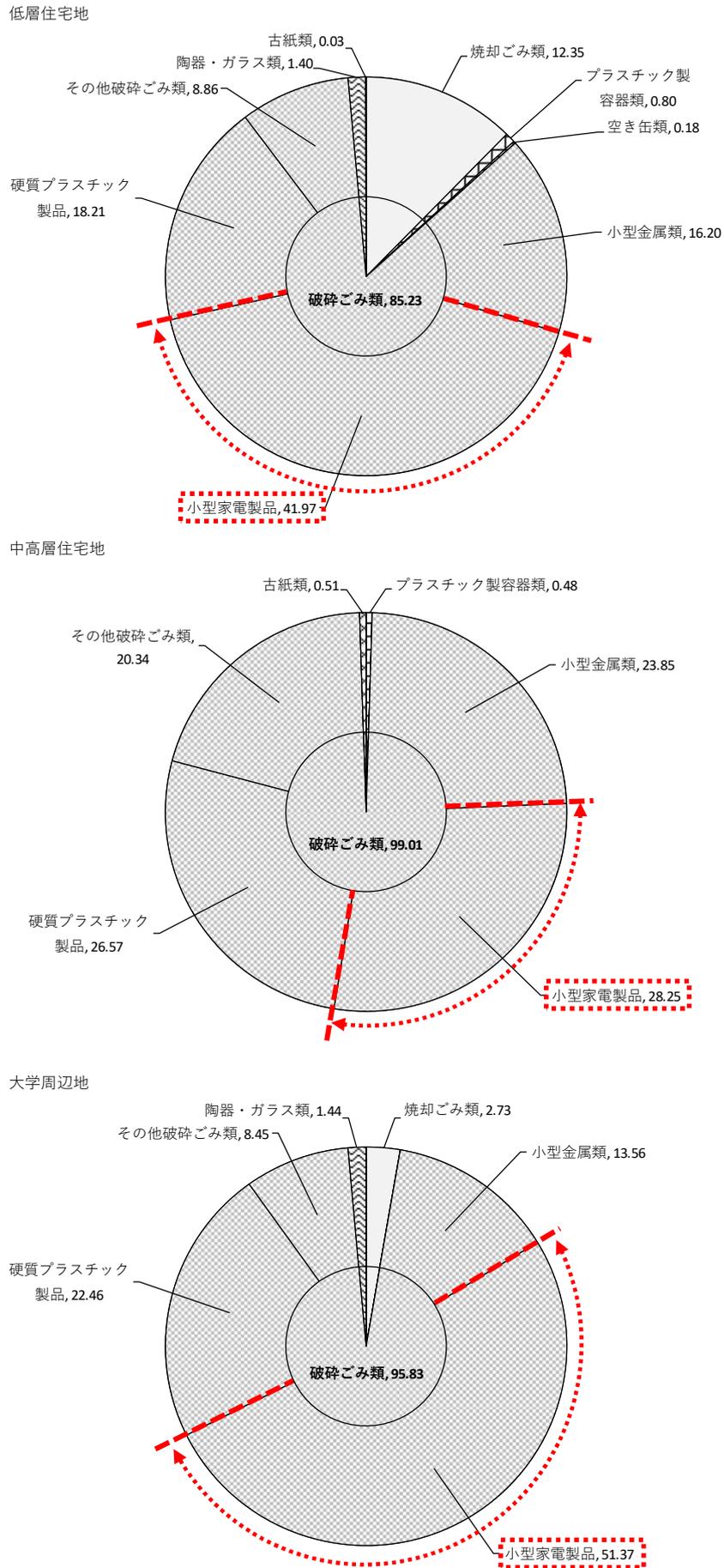


図 2-5 家庭系破碎ごみ調査結果 (地域別)

③ 事業系一般廃棄物

表 2-6 事業系一般廃棄物調査結果（地域別）

大分類	中分類	小分類	No.	駅周辺地	工業系事業所 密集地
焼却 ごみ類	生ごみ	手付かず食品	1	17.38	0.36
		料理くず	2	6.66	0.13
		食べ残し	3	2.90	0.34
		その他	4	4.96	0.51
	紙くず	紙くず（リサイクル不可）	5	29.02	34.74
		紙おむつ	6	7.33	0.00
	ゴム・ 皮革製品、 繊維類	ゴム・皮革製品	7	2.57	0.10
		繊維類（リサイクル可能）	8	0.00	0.72
		繊維類（リサイクル不可）	9	2.24	32.31
		プラスチック容器包装を除くプラスチック	10	0.13	0.47
		在宅医療廃棄物	11	0.00	0.00
		その他	12	1.61	9.38
プラス チック 製容器 類	包装類	13	0.10	0.02	
	袋・ラップ類	14	9.07	8.19	
	カップ・パック類	15	0.77	0.11	
	トレイ類	16	0.14	0.00	
	その他（チューブ類 ボトル類 ふた・キャップ類）	17	1.24	0.72	
	リサイクル不可（簡易な洗浄でリサイクル可）	18	0.59	0.58	
	レジ袋	19	0.27	0.36	
	ペットボトル類	20	0.15	0.03	
	空き缶類	21	0.11	0.00	
	飲・食料用ガラスびん類	22	0.38	0.00	
破碎 ごみ類	小型金属類	23	0.00	0.00	
	小型家電製品	24	0.00	0.00	
	硬質プラスチック製品	25	0.00	0.00	
	その他	26	0.03	0.04	
	陶器・ガラス類	27	0.25	0.00	
古紙類	新聞・広告	28	0.20	0.68	
	段ボール	29	2.17	0.64	
	雑誌・雑紙	30	9.74	9.58	
	その他（電池・ライター）	31	0.00	0.00	
合計		—	—	100	100

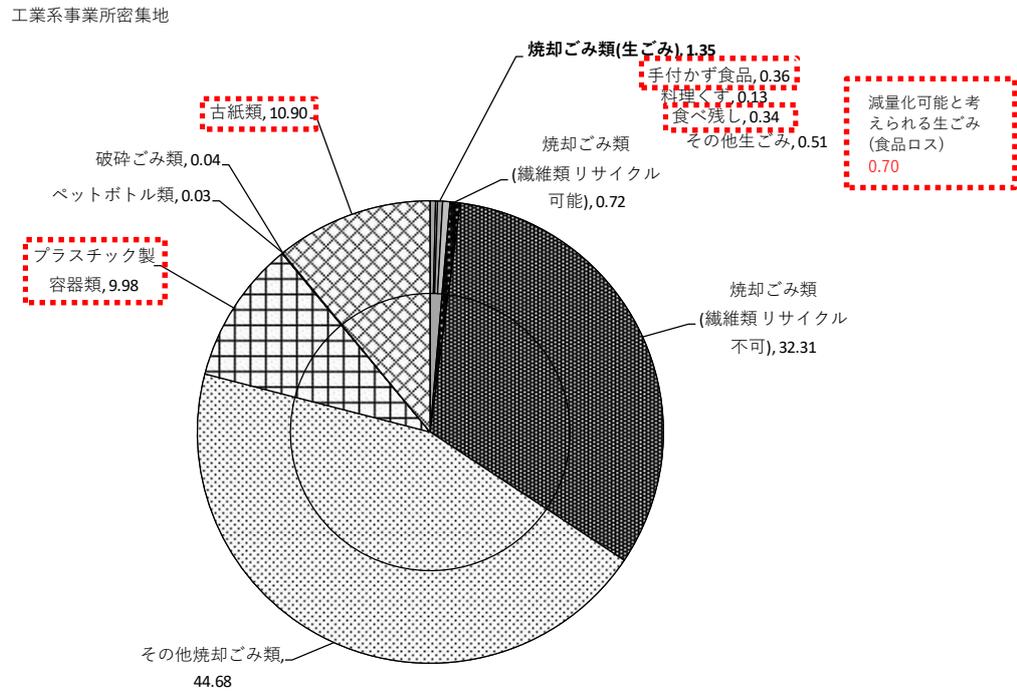
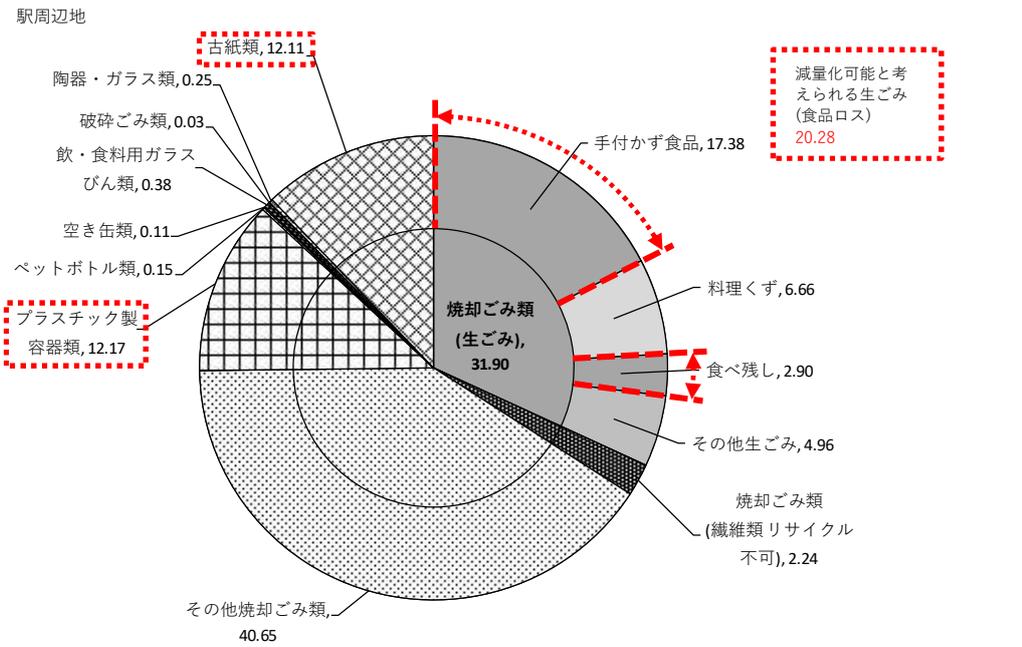


図 2-6 事業系一般廃棄物調査結果 (地域別)

3) 指定ごみ袋 1 袋当たりの投入容量調査

投入容量調査は最も排出量の多い家庭系焼却ごみ類を対象に、市の特徴である小規模世帯や単身世帯が多い中で現行の指定ごみ袋の大きさが適合しているか、その排出状況を把握します。

試料は分類前の指定ごみ袋に対し、6 地域で延べ 168 袋を調査しました。

家庭系焼却ごみ類の指定ごみ袋 1 袋当たりの投入容量結果を表 3-1 及び図 3-1 に示します。

表 3-1 投入容量調査結果（地域別）

	全体	琵琶湖周辺地	低層住宅地	中高層団地	駅周辺地	駅近隣地	大学周辺地
検体数（袋）	168	25	28	30	29	25	31
最小（L）	17	21	18	20	22	18	17
最大（L）	53	53	48	42	45	39	35
平均（L）	31.6	32.9	30.5	34.1	33.1	31.5	27.8

① 投入容量調査（全体）

表 3-1 及び図 3-1 より、家庭系焼却ごみ類の投入容量は、最小 17L～最大 53L、平均値は 31.6L でした。

10L ごとの分布は 30L 超～40L 以下が 58.9%と最も高く、次いで 20L 超～30L 以下が 30.4%となり、およそ 9 割がこの容量で排出されていました。

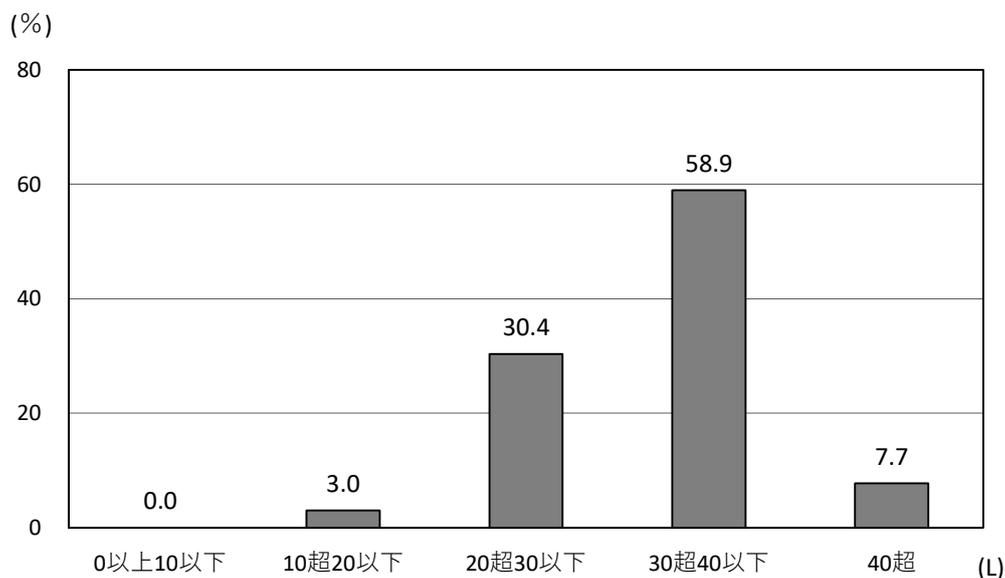


図 3-1 指定ごみ袋 1 袋当たりの投入容量結果（全体）

4) ごみ組成調査状況写真

① 家庭系焼却ごみ類

生ごみ 手付かず食品



生ごみ 調理くず



② 家庭系破碎ゴミ類

破碎ゴミ類 小型金属類



破碎ゴミ類 小型家電製品



破碎ゴミ類 硬質プラスチック製品



破碎ゴミ類 その他



③ 事業系一般廃棄物

生ごみ 手付かず食品



生ごみ 調理くず



生ごみ 食べ残し



プラスチック製容器類 袋・ラップ類



古紙類 雑誌・雑紙

